

週日の説教

金 大烈 神父 2009年12月12日(土)

《私たちのエリアは？》

今日はエリアの話が出ましたね。第一朗読(シラ 48・1 4,9 11)はエリアについて、そして福音(マタイ 17・10 13)でも、イエス様が洗礼者ヨハネをエリアとして認めました。

エリアは、紀元前9世紀、北イスラエルに登場した預言者です。その頃、北イスラエルは、7番目の王のアハブが治めていました。その時代は、物質崇拜の時代で、人々はバアルという偶像を崇拝していました。預言者エリアは、そのような時代に現れ、バアルを信じていた人々に印を見せて、それを退けた人です。では、エリアはどのようにしてこの世界から去ったのでしょうか。今日の第一朗読に、「火の旋風に包まれ、火の馬の引く車に乗せられて天に上げられた」と書いてありますね。火のつむじ風に巻き上げられて、天に昇ったのです。このような話が伝えられているので、イスラエル人は、終末が近づくと預言者エリアが必ず戻ってくると信じていました。そして、イエス様の時代でも、エリアはメシアとして待たれていました。旧約聖書に限らず聖書全般に、イスラエル人がエリアをモーセと同じくらい尊敬していたことが書かれています。ユダヤ教の人々だけでなく、イスラム教の人々もエリアについては、偉大な預言者であると、いろいろな本に書いています。エリアは、パレスチナ地方では、昔から待たれていた人物なのです。紀元前9世紀の人物なのに、今でも待っている人々がいます。

だから、弟子達はイエス様に「洗礼者ヨハネはエリアの生まれ変わりだ、という人々がたくさんいますが、どう思われますか。」という質問を何回もします。その時イエス様は、「エリアは既に来たのだ。」と認めました。それは、ご自分の道を整えた洗礼者ヨハネを高く評価した事を意味します。

さあ、私たちにとって、エリアとはどのような意味を持つ人物でしょうか。皆様にも今までに、自分の人生の方向に影響を与えた人がいると思います。たとえば、小学校のときに出会った尊敬する先生とか、洗礼を受けるきっかけとなった司祭やシスターなど。それぞれ、自分の人生に影響を及ぼした人が、必ずいると思います。そのような人をエリアだと思ってもよいでしょう。そして私たちもいつか、誰かを導くエリアになるかもしれません。

エリアは、神様に聞いた話だけを、いつも、何の恐れもなく、まっすぐに話した人です。遠回りをしないで、「悔い改めなさい」とはっきり言うタイプでした。そういう面で、洗礼者ヨハネとよく似ていたと思います。しかし、このような性格の人は敵が多いです。聞いて嬉しい話はしません。相手のために、本当に心を痛めるけれど、言うべきことは言うタイプです。

皆様、私たちも人生の中でエリアのような人に出会っていると思います。その人を思い出せば感謝の心でいっぱいになると思います。そして、もしかしたら私の振る舞い、私の一言にも影響を受ける人がいるかもしれません。その人々に正しい影響を与えるためには、自分自身をきちんと振り返ってみななければならないと思います。

皆様、今日の福音をとおして、自分のエリアとしてどのような人に出会ってきたかを思い出してください。そして、その人に感謝し、私たちもこれからの人生で、そのような役割をしなければならないことを考えてみましょう。

ありがとうございました。